

## 週刊 女川湾海況速報 (No.36)

発行：東北大学女川フィールドセンター

東北大学マリンサイエンス復興支援室

3 月 25 日から 29 日の小乗南防波堤定点と St.1 の海洋観測情報

## 観測点



## 小乗南防波堤定点の結果

①水温・塩分：先週と比較して水温と塩分は全層で下降し、水温は 6°C 台を示した。経時的には 27 日に水温と塩分が全層で下降した後、水温は 28 日に顕著に上昇したのに対し、塩分は徐々に上昇。27 日の水温と塩分の下降は外洋水の影響、28 日の水温の上昇は気温の上昇の影響と推定。

水深 [m]	3月25日 (月)	3月26日 (火)	3月27日 (水)	3月28日 (木)	3月29日 (金)
0	6.6 (33.1)	6.8 (32.8)	6.1 (32.2)	6.8 (32.2)	6.9 (32.6)
5	6.7 (33.1)	6.8 (32.9)	6.1 (32.2)	6.6 (32.3)	6.8 (33.1)

水温の単位は°C。カッコ内の塩分の単位はパーミル（千分率）。1 パーミル = 1PSU（実用塩分単位）。

②濁度：先週と比較して全層で上昇。経時的には 26 日と 28 日以降に全層で上昇し、29 日には 2.7FTU を示した。

水深 [m]	3月25日 (月)	3月26日 (火)	3月27日 (水)	3月28日 (木)	3月29日 (金)
0	0.5	0.8	0.3	0.8	2.7
5	0.9	1.2	0.4	1.9	2.7

(単位は FTU)

③溶存酸素：先週と比較して全層で上昇し、10~11mg/l 台を示した。経時的には 27 日から全層で下降傾向にあり、28 日には 10.9mg/l を示した。

水深 [m]	3月25日 (月)	3月26日 (火)	3月27日 (水)	3月28日 (木)	3月29日 (金)
0	10.8	11.4	11.0	10.9	11.3
5	10.7	11.3	10.9	10.9	11.5

単位は mg/l。水産用水基準（水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値）：4.3mg/l 以上。

## St.1 の結果

水温、塩分はそれぞれ 6.2~7.0°C、32.1~33.6 パーミルの範囲にあり、水温と塩分は水深とともに上昇傾向。濁度は 0.3~1.5FTU の範囲にあり、底層（19m）で最大。溶存酸素は 9.8~10.8mg/l の範囲にあり、底層で最小。

3 月 27 日

水深 [m]	水温 [°C]	塩分 [パーミル]	濁度 [FTU]	溶存酸素 [mg/l]
0	6.2	32.1	0.3	10.7
5	6.4	32.7	0.5	10.8
10	6.6	33.3	0.6	10.8
15	7.0	33.6	1.1	10.2
19	7.0	33.6	1.5	9.8

本データの利用については、  
東北大学マリンサイエンス復興支援室

Tel.: 022-717-8827

Fax: 022-717-8828

E-mail:

[agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp](mailto:agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp)

までお問い合わせください。